



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 古河機械金属株式会社
コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 信義
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	123,639	10.8	2,511	401.0	1,738	—	1,742	—
24年3月期第3四半期	111,602	△8.3	501	△62.2	△540	—	△3,152	—

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 △930百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △2,224百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.31	—
24年3月期第3四半期	△7.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	186,295	—	46,731	—	—	24.1
24年3月期	193,971	—	47,668	—	—	23.7

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 44,979百万円 24年3月期 46,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成25年3月期の期末の配当については未定であり、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	4.1	2,700	25.3	1,500	18.2	2,000	—	4.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年2月6日)公表いたしました「特別利益の発生および連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	404,455,680 株	24年3月期	404,455,680 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	315,699 株	24年3月期	313,540 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	404,140,629 株	24年3月期3Q	404,148,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 事業分離における分離元企業の注記	10
(7) 重要な後発事象	11
平成25年3月期 第3四半期決算短信 補足資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～12月31日）の我が国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に底堅く推移しましたが、世界景気の減速などの懸念材料を抱え、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済状況の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主として、金属部門およびユニック部門の増収により、1,236億39百万円（対前年同期比120億36百万円増）、営業利益は主としてユニック部門、金属部門および塗料部門の増益により、25億11百万円（対前年同期比20億10百万円増）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は以下の通りであります。

産業機械部門では、環境機器および橋梁等、全般的に好調を維持することができました。売上高は90億円（対前年同期比11億76百万円増）、営業利益は2億70百万円（対前年同期比2億51百万円増）となりました。

開発機械部門では、国内向けは復興需要により増収となりましたが、海外向けはアジア向けが大きく減収となりました。売上高は170億32百万円（対前年同期比10億12百万円減）、営業利益は39百万円（対前年同期比0百万円増）となりました。

ユニック部門では、普通トラック登録台数が対前年同期比25%増となりユニッククレーンの売上が順調に伸びたことに加え、ユニック・キャリア、ミニ・クローラクレーンや船舶架装用クレーンも増収となりました。売上高は149億60百万円（対前年同期比35億77百万円増）、営業利益は15億79百万円（対前年同期比10億94百万円増）となりました。

産業機械、開発機械およびユニックの機械3部門合計の売上高は409億93百万円（対前年同期比37億41百万円増）、営業利益は18億89百万円（対前年同期比13億45百万円増）となりました。

金属部門では、前年は震災被災による減産がありましたが、当期は電気銅の販売量が大きく増加し、売上高は584億51百万円（対前年同期比110億72百万円増）、営業利益は4億79百万円（対前年同期比4億45百万円増）となりました。

電子部門では、コイル製品は売上を伸ばすことができたが、高純度金属ヒ素は半導体市況の低迷や原発事故の風評被害により苦戦が続いております。売上高は38億48百万円（対前年同期比2億57百万円増）、営業損失は1億67百万円（対前年同期比68百万円の損失増）となりました。

化成品部門の売上高は38億56百万円（対前年同期比74百万円減）、営業利益は2億19百万円（対前年同期比32百万円増）となりました。

塗料部門では、電子部品向け高機能塗料や環境配慮型塗料など、順調に売上を伸ばすことができました。売上高は113億48百万円（対前年同期比2億75百万円増）、営業利益は61百万円（前年同期は2億89百万円の損失）となりました。

不動産部門の売上高は7億95百万円（対前年同期比1億43百万円減）、営業利益は1億76百万円（対前年同期比1億1百万円減）となりました。

燃料部門の売上高は37億70百万円（対前年同期比30億90百万円減）、営業損失は28百万円（対前年同期比2百万円の損失増）となりました。なお、当セグメントを構成していた古河コマース株式会社の全株式を平成24年10月1日に譲渡いたしましたので、売上高および営業損失は第2四半期連結累計期間の数値であります。

当第3四半期連結累計期間の経常利益は17億38百万円（前年同期は5億40百万円の損失）となりました。特別利益に受取補償金9億14百万円、投資有価証券売却益9億42百万円、特別損失に減損損失3億31百万円他を計上した結果、四半期純利益は17億42百万円（前年同期は31億52百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,862億95百万円で、前連結会計年度末に比べ76億75百万円減少しました。これは主として原材料及び貯蔵品と受取手形及び売掛金の減によるものであります。有利子負債（借入金）は888億93百万円で前連結会計年度末に比べ30億98百万円増加しました。純資産は467億31百万円で前連結会計年度末に比べ9億37百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成24年11月7日）発表の業績予想における前提は第4四半期で銅価を7,800米ドル/トン、為替を79円/米ドルとしておりましたが、直近の状況を考慮して銅価を8,000米ドル/トン、為替を87円/米ドルに変更いたしました。この結果、売上高につきましては、金属部門で増収となりますが、海外市況の回復が遅れている開発機械部門で減収となることなどから全体では前回発表通りとしております。また、営業利益では、開発機械部門や電子部門で前回発表の利益を確保することが難しいと見込まれることから、下方修正しております。なお、為替差益の計上等により、経常利益は前回発表通りとしておりますが、特別利益に原子力発電所事故による損害賠償金および連結子会社である株式会社トウペについて日本ゼオン株式会社が実施する公開買付けへの応募（「重要な後発事象」および平成25年2月6日発表の「株式会社トウペに対する公開買付けへの応募に関するお知らせ」をご参照願います。）による子会社株式売却益を計上する予定であることから、当期純利益を上方修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,156	20,770
受取手形及び売掛金	29,686	25,776
有価証券	49	—
商品及び製品	12,526	14,374
仕掛品	6,399	7,450
原材料及び貯蔵品	11,882	4,330
その他	6,915	7,064
貸倒引当金	△118	△105
流動資産合計	81,498	79,661
固定資産		
有形固定資産		
土地	58,653	58,321
その他（純額）	26,432	25,611
有形固定資産合計	85,085	83,933
無形固定資産		
のれん	437	372
その他	210	173
無形固定資産合計	647	546
投資その他の資産		
投資有価証券	23,146	19,416
その他	5,142	4,039
貸倒引当金	△1,548	△1,301
投資その他の資産合計	26,740	22,154
固定資産合計	112,473	106,634
資産合計	193,971	186,295
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,022	18,145
短期借入金	30,938	31,205
未払法人税等	458	576
引当金	222	211
その他	17,165	15,026
流動負債合計	74,807	65,166
固定負債		
長期借入金	54,857	57,687
引当金	1,878	1,960
資産除去債務	196	199
その他	14,563	14,550
固定負債合計	71,495	74,398
負債合計	146,303	139,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	15,705	17,346
自己株式	△46	△46
株主資本合計	43,866	45,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,161	△481
繰延ヘッジ損益	△190	△379
土地再評価差額金	3,577	3,678
為替換算調整勘定	△3,393	△3,345
その他の包括利益累計額合計	2,155	△528
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,593	1,698
純資産合計	47,668	46,731
負債純資産合計	193,971	186,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	111,602	123,639
売上原価	98,131	107,848
売上総利益	13,471	15,790
販売費及び一般管理費	12,970	13,279
営業利益	501	2,511
営業外収益		
受取配当金	343	266
為替差益	—	257
その他	560	408
営業外収益合計	904	932
営業外費用		
支払利息	1,058	961
休鉱山管理費	459	381
その他	427	362
営業外費用合計	1,945	1,706
経常利益又は経常損失 (△)	△540	1,738
特別利益		
受取補償金	—	914
投資有価証券売却益	2	942
負ののれん発生益	8	—
保険差益	5	—
その他	8	72
特別利益合計	26	1,929
特別損失		
減損損失	100	331
その他	4,377	112
特別損失合計	4,477	443
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,991	3,223
法人税、住民税及び事業税	256	863
法人税等調整額	△1,914	492
法人税等合計	△1,658	1,355
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△3,333	1,867
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△181	125
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△3,152	1,742

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,333	1,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	985	△2,660
繰延ヘッジ損益	115	△166
土地再評価差額金	294	—
為替換算調整勘定	△120	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	△167	65
その他の包括利益合計	1,109	△2,798
四半期包括利益	△2,224	△930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,052	△1,042
少数株主に係る四半期包括利益	△171	111

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	7,824	18,044	11,383	47,378	3,591	3,930	11,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,271	24	52	413	6	660	22
計	9,095	18,069	11,435	47,791	3,597	4,590	11,096
セグメント利益又は損失 (△)	19	39	484	33	△99	187	△289

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	938	6,860	111,025	576	111,602	—	111,602
セグメント間の 内部売上高又は振替高	99	253	2,804	983	3,787	△3,787	—
計	1,038	7,114	113,829	1,560	115,390	△3,787	111,602
セグメント利益又は損失 (△)	277	△25	627	△81	545	△44	501

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	9,000	17,032	14,960	58,451	3,848	3,856	11,348
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,743	20	67	357	6	679	36
計	10,744	17,052	15,027	58,808	3,855	4,535	11,385
セグメント利益又は損失 (△)	270	39	1,579	479	△167	219	61

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	795	3,770	123,064	575	123,639	—	123,639
セグメント間の 内部売上高又は振替高	106	163	3,181	1,029	4,210	△4,210	—
計	901	3,934	126,245	1,604	127,849	△4,210	123,639
セグメント利益又は損失 (△)	176	△28	2,630	△52	2,578	△66	2,511

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△73百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「燃料」セグメントに関しましては、当セグメントを構成する古河コマース株式会社の全株式を平成24年10月1日に譲渡したことに伴い、売上高及びセグメント損失(△)は、第2四半期連結累計期間までの数値を記載しております。

(6) 事業分離における分離元企業の注記

当社は連結子会社である古河コマース㈱の全株式を平成24年10月1日に㈱宇佐美鉱油へ譲渡いたしました。これは平成24年8月29日開催の当社取締役会決議及び同年8月30日締結の株式譲渡契約に基づくものであります。

一 事業分離の概要

1. 分離先企業の名称及び分離した事業の内容

分離先企業の名称 ㈱宇佐美鉱油

分離した事業の内容 燃料事業

2. 事業分離を行った主な理由

古河コマース㈱は平成22年10月に事業を石油製品の販売に特化し、収益の確保に努めてまいりましたが、業績は厳しい状況が続いておりました。業界再編も進む厳しい現況下では古河コマース㈱の業績の大きな改善は期待できないことから、燃料事業から撤退して経営資源を機械、金属、電子等の事業に集中するべきと判断し、古河コマース㈱の全株式を㈱宇佐美鉱油に譲渡することを決定したものであります。

3. 事業分離日

平成24年10月1日

4. 事業分離の概要（法的形式を含む）

受取対価を現金のみとする株式譲渡

二 実施した会計処理の概要

1. 子会社株式売却益の金額（概算） 58百万円

（特別利益のその他に計上しております。）

2. 移転した事業に係る適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産 1,188百万円

固定資産 239

資産合計 1,427

流動負債 1,123

固定負債 75

負債合計 1,199

三 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

燃料セグメント

四 当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 3,770百万円

営業損失 28

(7) 重要な後発事象

(重要な子会社の株式の売却)

当社は、平成25年2月6日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社トウペ（以下「トウペ」といいます。）について、日本ゼオン株式会社（以下「ゼオン」といいます。）が平成25年2月7日から実施する予定の公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に、当社が所有する全ての普通株式（みずほ信託銀行株式会社退職給付信託古河機械金属口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社名義による所有を含みます。）を応募する旨の公開買付応募契約を締結することを決議しました。

1. 応募契約締結の理由

当社が平成21年12月にトウペを子会社とした後、トウペは、当社の経営支援の下、経営改善計画の実行等により業績向上に注力しているところであります。このような状況下、ゼオンから当社に対し、トウペを公開買付けによりゼオンの子会社としたい旨の提案がありました。当社としましては、トウペにとっては大きなシナジー効果を期待されるゼオンの傘下で経営することがトウペの企業価値向上のためにも最善であり、一方、当社にとっても経営資源を機械事業および素材事業等に集中できるとの判断から本公開買付けへの応募を決定いたしました。

2. 売却する相手会社の名称

日本ゼオン株式会社

3. 公開買付けの日程

- (1) 応募契約締結 平成25年2月6日
- (2) 買付期間 平成25年2月7日から同年3月21日まで
- (3) 結果公表日 平成25年3月22日
- (4) 決済の開始日 平成25年3月27日

4. 当該子会社の名称、事業内容および当社との取引内容

- (1) 当該子会社の名称 株式会社トウペ
- (2) 事業内容 塗料・化成品の製造および販売、塗料の工事施工等関連業務
- (3) 当社との取引内容 当社グループ製品である化成品の一部をトウペに販売しております。また、当社はトウペに資金の貸付および銀行借入の一部に債務保証を行っております。

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益および売却後の持分比率

- (1) 売却する株式の数 16,479,764株（内訳：当社所有 10,716,764株、みずほ信託銀行株式会社退職給付信託古河機械金属口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社所有：5,763,000株）
- (2) 売却価額 13億39百万円（当社所有分に係る金額）
- (3) 売却損益 本公開買付けが成立した場合、約8億円の売却益を計上する予定であります。
- (4) 売却後の持分比率 ー

6. その他重要な特約等

該当事項はありません。

金属前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第3四半期決算 \$/mt	7,831	△ 713
	年度予想 \$/mt	7,887	△ 598
為替	第3四半期決算 円/\$	80.0	1.0
	年度予想 円/\$	81.8	2.7

平成25年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2013年2月6日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械部門	37,252	40,993	3,741
（産業機械）	(7,824)	(9,000)	(1,176)
（開発機械）	(18,044)	(17,032)	(△ 1,012)
（ユニット）	(11,383)	(14,960)	(3,577)
金属部門	47,378	58,451	11,072
電子部門	3,591	3,848	257
化成品部門	3,930	3,856	△ 74
塗料部門	11,073	11,348	275
不動産部門	938	795	△ 143
燃料部門	6,860	3,770	△ 3,090
その他	576	575	△ 1
【合計】	111,602	123,639	12,036

平成25年3月期	
年度予想	対前年増減
56,000	2,801
(13,000)	(50)
(22,500)	(△ 1,643)
(20,500)	(4,394)
76,500	8,385
5,200	584
5,300	112
15,200	325
1,000	△ 233
3,800	△ 5,776
1,000	233
164,000	6,433

〔営業利益〕

	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械部門	543	1,889	1,345
（産業機械）	(19)	(270)	(251)
（開発機械）	(39)	(39)	(0)
（ユニット）	(484)	(1,579)	(1,094)
金属部門	33	479	445
電子部門	△ 99	△ 167	△ 68
化成品部門	187	219	32
塗料部門	△ 289	61	351
不動産部門	277	176	△ 101
燃料部門	△ 25	△ 28	△ 2
その他	△ 81	△ 52	28
（計）	545	2,578	2,032
調整額	△ 44	△ 66	△ 21
【合計】	501	2,511	2,010

平成25年3月期	
年度予想	対前年増減
2,520	549
(600)	(△ 108)
(△ 100)	(△ 433)
(2,020)	(1,091)
100	△ 208
△ 270	△ 35
300	48
30	359
200	△ 156
△ 30	△ 16
△ 70	23
2,780	564
△ 80	△ 19
2,700	545